新入社員、マナー学ぶ

大垣信金、取引先向けに研修



ビジネスマナーを学ぶ新入社員ら＝大垣市恵比寿町、大垣信用金庫大信ホール

大垣信用金庫（栗田順公理事長）の取引先企業の新入社員らがビジネスマナーを学ぶ研修会が9、10の両日、大垣市恵比寿町の同金庫大信ホールで開かれた。

西濃地域を中心に、同金庫の取引先企業25社の新入社員約60人のほか、取引先企業の入社10年未満程度の中堅社員約30人、同金庫の新入庫職員30人が受講。

取引先企業からの新入社員の参加者は例年より10人以上多いといい、担当者は「景気回復に伴い、新卒採用増が進んでいるのではないか」としている。新入社員の研修は、元民放アナウンサーの大嶽まどかさんが指導。仕事への心構えのほか、名刺交換の仕方や来客への対応法、ビジネス文書の書き方などを学んだ。

無断複製・転載を禁じます